

新井JC
- 新潟県 -

現役とシニア、
親子2代が集う30周年記念式典

新井JCシニアクラブは1979年に設立し本年度で30年を経過いたしました。

30年の歴史を記念し、去る7月4日に40歳の新入会員から70歳を超える古参メンバーとともに、さまざまな記念式典を開催いたし、また活動エリアである妙高市に対しての記念事業を実施いたしました。

新井JCそのものは、1975年に設立されておりますが、JCの卒業メンバーが10人を超えたところからシニアクラブ設立の気運が高まり、新井JC初代理事長の横山孝雄氏をシニアクラブの初代会長としてスタートいたしました。

その後、歴代のJC理事長経験者が順送り代表世話人の名称でクラブの運営にあたっております。しかし、運営と言いましても実態は「新井JC特別

会員」の名称のもとに個々のメンバーや企業が新井JCに対して金銭的支援を行なうスポンサーとなっているだけで、現役メンバーの活動には一切口を出さないことを心がけております。現役メンバーとの交流は合同の新年会、シニアクラブ総会、年に一度の合同ゴルフ大会、歴代理事長懇談会の4回を設立当初より継続しております。

JCは40歳をもって定年を迎えますが、シニアクラブは年齢制限がなく、また、JCの卒業生のほとんどが入会いたしますので、物故会員が時々出てしまってもの会員数は年々増え続けて、現役メンバーの2倍以上となっております。また、親子2代にわたってJCに入会している例も数多いことから、50歳以上のメンバーにあっては、現役JCメンバーとの交流会で自分の子ども

といつしよに酒を酌み交わすことになりまます。もう少し経ちますと、これがシニアクラブ会員だけの会合でも、親子が同席することになり、時の流れの速さと自分自身の高齢化を改めて感じます。

新井JCの活動エリアであった新井市は2005年に周辺町村と合併し、妙高市と名称を変えており、広域化することにより現役メンバーも旧町村からの入会者が目立ってきており、JCの各種事業もかなり広域化しております。そろそろ妙高JCと名称をかえても良い頃かなという気がいたしますが、老兵は口を出さず、見守るだけのほうが良いようです。

新井JCシニアクラブ

世話人代表

和田 知成

30周年記念事業実行委員長

炭田 秀昭



30周年実行委員長として挨拶をする炭田秀昭



初代理事長横山孝雄氏の新井商工会議所会頭としての祝辞



30周年記念式典で歓迎の挨拶をする和田世話人代表



開会直前の式典会場